



夏休みの一大イベント

夏休みが終わり、2学期が始まりましたね。楽しく、充実した夏休みを過ごせましたか。パラオで迎える2回目の夏（といっても、年中夏のようなものですが…笑）は、N藤先生が遊びに来てくれて、久しぶりにパラオの様々な観光スポットを回ったりと、楽しむことができました！（詳しくはN藤先生に聞いてみてね♡）

パラオには、『日本語補習授業校』と呼ばれる学校があります。現地の学校に通う日本にルーツのある子どもたちが、土曜日の午前中だけ通い、日本の教科書を使って国語や算数を学ぶところです。現在は小学校1年生から中学生まで、28人の子どもたちが通っています。去年の8月から補習校でボランティア教員をさせていただいているのですが、5月下旬から8月上旬まで長い夏休みがありました。夏休み明け

『自由研究発表会』が行われ自分が興味をもって調べたことや作成したものを一生懸命紹介していました。日本語が苦手な子も多くいますが、練習したことを堂々と発表する姿に感動しました！



【パラオ日記】

★パラオには戦争で命を落とされた旧日本海軍の方々の墓地があります。広島原爆の日からちょうど78年の8月6日、墓地清掃活動に参加してきました。参加者みんなで平和を願い、記念碑などの手入れをした後、黙とうを捧げました。



★パラオ人はバレーが大好き！学校の休み時間にはみんなが円陣をつくってバレーをしていたり、夜は大人たちが集まってバレーをしています。そんなパラオで度々バレーの大会に参加させてもらっていますが、8月にパラオ人・フィリピン人の友だちと出た大会で初めて優勝しました！優勝のトロフィーは『ベラウ・エコ・グラスセンター』というガラス工芸工房で作られたものでした。



★ベラウ・エコ・グラスセンターの隣にはリサイクルセンターがあります。エコ・グラスセンターのガラス製品は、リサイクルセンターで廃プラスチックを溶かして作られた再生油を使って発電し、その電気を使って廃ガラス瓶を溶かして作られているそうです。つまり、エネルギーを自給自足システムでまかなっているのです。

Palau Kids Athletics Day 開催!



パラオには、16の公立小学校があります。年間を通して、高学年はバレーやサッカー、陸上競技など学校対抗の様々な競技のスポーツ大会を行っていますが、低学年はあまり他の学校の子もたちと会う機会がありません。そこで数年前から低学年対象に Kids Athletics Day というのを開催し、違う学校の子もたちが交流しながら運動も楽しめるイベントを始めたそうです。当日は、約400人の子もたちが集まり、色分けされたチームでイベントを楽しんでいました!

👉 とても暑い日だったのでこまめに水分補給をしながらも、子どもたちはそれぞれの種目を楽しんでいました!



教育省主催のイベントでしたが、パラオオリンピック協会の陸上連盟がイベントの企画、運営をしてくれたり、当日は各学校の体育の先生方やコロール小の8年生がサポートをしてくれたり、ピース・ウィンズという日本のNGO団体が生活習慣改善を啓発するブースを開いてくれたり、色んな人が関わったイベントになりました!

👉 ピース・ウィンズさんのマスコットキャラ、『トクタン・ケンシンくん』(トクタンはパラオ語で医者という意味だそう)



日本の緑茶を子どもたちが試飲していました。パラオの子どもたちからは「おいしい!」「ちょっと苦い」という声。

陸上連盟には多くの高校生や大学生が所属し、お手伝いしていました!

👉 段ボールを使って、記念撮影用のボードを作成しました。昼休みには、色々な学校の子もたちが集まって写真を撮って来ていました ^^

